



## (1) 敬老イベント「体も整うお茶会」が開催されました。

福利厚生・総務・交流支援・サポーター

5月22日、75歳以上の女性を対象にした敬老イベント「体も整うお茶会」が町内会館で開催されました。アロマハンドマッサージ、耳つぼジュエリー、ヘッドマッサージの3人の専門家によるセラピー体験とお茶会と云うより「おしゃべり会?」を通して、身体も心も整えましょう、と云う企画です。

開催当日は、朝から生憎の雨模様、最高気温も16℃と云う3月下旬並みと云う悪条件でしたが、11名のレディーが参加、楽しい時間を過ごされました。

筆者も見学がてら顔を出しましたが、もちろん一人で長居できる状況ではなく、早々に退散しました。



## (2) だいさん「男」の料理体験会が開催されました。

交流支援部

「だし厨房に入り隊」

5月31日、交流支援部主催の「第1回だいさん男のお料理体験会」が中川地区センターで開催されました。

第1回のメニューは、フライパン1つで手軽に焼ける「手作りパン」と胡麻たっぷりの和風クッキー「おからポキポキ」。参加者は男性が5名に対し女性6名と女性優位でしたが、それでもエプロンに三角巾姿の男性陣、真剣に調理台に向かい、満足できる料理が仕上がったようでした。もちろん、調理途中の交流も充実、皆さん楽しい時間を過ごされた様子でした。

調理終盤に差し掛かった頃、顔を出し、こっそり試食させて頂きましたが、なかなかの「美味」でした。



## (3) 横浜市より 防災関連連絡

横浜市防災・危機管理統括本部地域防災課

### ①感震ブレーカー等設置推進事業について

大地震時の通電火災を防ぐ為に、揺れを感知すると自動的に電気の供給を遮断する「感震ブレーカー」の設置に対する横浜市の補助金制度が開始されます。

地震による大規模火災の危険性の高い重点対策地域(西区、中区などの一部地域)では、器具代の全額が、泉区等その他地区では、その一部が補助されます。

### ②家具転倒防止対策助成事業について

大地震発生時のケガの30~50%は家具転倒に依ります。また、転倒した家具が火災の原因になる事も多く、その為、横浜市では大地震時の家具転倒防止対策として、家具転倒防止器具の補助制度を開始します。

感震ブレーカーと同様、重点対策地域には器具代の全額が、その他地域には1/2が補助されます。詳細は、感震ブレーカーと共に説明のチラシが地域ケアプラザ、地区センター、区役所に配架されます。ご確認ください。

【問合せ】地震火災対策コールセンター 0120-480-002

### \*よこはま防災研修(WEB研修)のお知らせ

災害に対する日頃の備え、災害発生時の避難方法等、防災の基礎を、横浜市消防局が運用してる「よこはま防災e-パーク」から24時間いつでも学習する事ができます。詳しくは回覧

にてご確認ください。



## (4) 横浜市より小児医療費助成の対象年齢拡大について

横浜市健康福祉局

令和8年6月1日から、小児医療費助成制度の対象年齢が、これまでの「中学3年生まで」から「18歳年度末まで」に拡大されました。新たな対象者の医療

証に関する申請は不要であり、医療証が対象者へ直接郵送されます(5月下旬発送)

【問合せ】横浜市小児医療証コールセンター 045-900-6760